

防排煙連動操作盤

設定マニュアル

保管用屋内専用

壁掛型: NLD915AE10



●連動操作盤の連動データなどの機能設定(ソフト設定)内容の記録は施工責任者が保管してください。

1. 設定項目一覧表 ————————————————————————————————————	1~6
2. ソフト設定の開始方法/終了方法 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	7
3. ソフト設定モード時の操作表示部	8
4. ソフト設定モードの構成	9
5. 回線種別設定	10~11
6. 感知器回線の取付階設定	12~13
7. 防排煙連動設定	14
8. 代表移信設定 —————————————————————	15~16
9. オプションスイッチ設定 ――――	17~18
10. 発報場所音声設定	19
11. 回線別移信設定 ————————————————————————————————————	20
12. 回線別移信停止設定 ————————————————————————————————————	21
13. 警報音響設定 ————————————————————————————————————	22
14. 回線別蓄積設定 ————————————————————————————————————	23
15. 蓄積開始音響設定 ————————————————————————————————————	24
16. 終端抵抗器設定 ————————————————————————————————————	25
17. 防排煙復帰制御時間設定	26
18. 設定内容の初期化	27
19. 設定表 ———————————————————————————————————	28~31

1. 設定項目一覧表

設定を行う前にチェック欄に ✔ を 記入して確認してください。

チェック	設定項目	設定内容
必ず設定	回線種別設定 カイセン シュへ゛ツ L, N ▼	●感知器回線 (DLn-DLC)、諸警報 (小窓) 回線 (Nn-NC) の使用種別を回線ごとに設定します。
	感知器回線の取付階設定 カイセン セッテイ カイ ▲ ▼	●感知器の取付階を設定します。
	防排煙連動設定 ホ [°] ゥハイエン レント [°] ゥ ▲ L, DA, N → D ▼ 基本設定	 ●感知器回線(DLn-DLC)、防排煙監視回線 (DAn-DC)、諸警報(小窓)(Nn-NC)から連動出力する防排煙制御(Dn-DC)を回線 ごとに設定します。
	代表移信設定 タ [*] イヒョウ イシン ▲ Fa イシン ▼ 基本設定	 ●代表移信(DFal・DFbl−DFcl、DFa2・ DFb2−DFc2、DFa3−DFc3、DFa4 −DFc4)を出力するための条件を設定します。(複数 の条件の設定が可能です。)

設定可能な内容	出荷時設定	備考	参照ページ
 ■感知器回線 ●「ホ、ウハイエン」:防排煙感知器回線 ●「ホ、ウハイエンフッキ」: 防排煙感知器(復帰制御用) 回線 ●「ケイホウ」:警報(自己保持なし) 回線 ●「ケイホウホシ、」:警報(自己保持あり) 回線 	防排煙回線: 「ボウハイエン」(防排煙感知器)	●防排煙回線の回線種別を「防排煙感知器」「防排煙感知器(復帰制御用)」以外に設定すると、その回線の防排煙監視入力・防排煙制御出力は使用できなくなります。	10~11
 ■諸警報(小窓)回線 ●「ケイカウ」 ●「トラブル」 ・外部トラブル 	諸警報(小窓)回線: 「ケイホウ」(警報)	●この設定を「外部トラブル」に設定す ると、防排煙連動、回線別移信は設 定できなくなります。	
 ●「B2F」:地下2階以下 ●「B1F」:地下1階 ●「**F」:1階~(回線数)階 ●「ST○」:○階段 (設定内容:0:なし ()は設定内容 	全回線:「ナシ」(階設定なし)	●回線種別が「警報 (自己保持なし)」「警 報 (自己保持あり)」に設定されている 場合はこの設定は行えません。	12~13
 連動元 ※ ** は回線番号 ●「L**」:感知器回線(DLn) ●「DA**」:防排煙監視回線(DAn) ●「N**」:諸警報(小窓)回線(Nn) ■連動先 ※ ** は回線番号 ●「D**」:防排煙制御回線(Dn) ■設定 ●「OFJ:出力しない 	感知器回線(DLn)= 防排煙制御回線(Dn) ※防排煙監視回線、諸警報 (小窓)回線はすべて「OFF」	 連動元1回線に対して、複数の防排 煙制御回線(Dn)を設定することが できます。 諸警報(小窓)回線の種別が「外部ト ラブル」に設定されている場合は、こ の設定は行えません。 防排煙感知器(復帰制御用)回線に該 当する Dn は連動先に登録できません。 	14
 ■設定可能な条件 ●「3シュカサイ」:防排煙感知器代表 ●「ホ・ウハイエン」:防排煙監視代表 ●「ケイホウ」:警報代表 ●「トラブル」:トラブル代表 ●「トラブル」: トラブル代表 ●「フクジ゛ュジンキ」:副受信機代表 ●「ひセイギョ」:防排煙制御代表 ■設定 ●「ON」:出力する ●「OFF」:出力しない 	DFal~DFa4 • 3種火災:「ON」(出力する) • 防排煙 :「OFF」(出力しない) • 警報 :「OFF」(出力しない) • トラブル:「OFF」(出力しない) • 副受信機:「OFF」(出力しない) • 防排煙制御: 「OFF」(出力しない)	 1つのFa端子に対して複数の条件を設定することができます。 副受信機代表の出力条件は「回線別移信(In-IC)が1回線でも出力されているとき」です。 副受信機代表をONに設定した場合は、そのFaは移信停止スイッチを操作しても停止しません。 	15~16

設定を行う前にチェック欄に ✓ を 記入して確認してください。

チェック	設定項目	設定内容
	オプションスイッチ設定 OPスイッチ ▲ 1-4 ▼ 基本設定	●オプションスイッチによる代表移信(DFal・DFbl - DFcl、DFa2・DFb2- DFc2、DFa3 - DFc3、DFa4- DFc4)への制御方法を設定し ます。
	発報場所音声設定 ケイホウ オンセイ ▲ ハッホ°ウ ハ*ショ ▼ 基本設定	●火災発生、またはトラブル発生時に鳴動させる音響を設定します。
	回線別移信設定 イシン レント [・] ウ L, DA, N → I ▼ 詳細設定	 ●感知器回線(DLn-DLC)、防排煙監視回線(DAn-DC)、諸警報(小窓)(Nn-NC)から連動出力する回線別移信(In-IC)を回線ごとに設定します。
	 回線別移信停止設定 レント[、]ウ テイシ イシンUT ▼ 詳細設定 	●移信用リレーユニット(別売)の回線別移信(In−IC)が どのスイッチで停止するかを設定します。
	警報音響設定 オンキョウ ▲ ケイホウ カイセン ▼ 詳細設定	●警報回線の入力時の音響「鳴動する」/「鳴動しない」を回線ごと に設定します。
	 回線別蓄積設定 チクセキ カサイ カイセン ▼ 詳細設定 	●感知器回線 (DLn-DLC) の「蓄積」 / 「非蓄積」 を回線ごと に設定します。

設定可能な内容	出荷時設定	備考	参照ページ
●「ミシヨウ」 :未使用(使用しない) ●「レンドウ テイシ」: 連動停止 ●「ON セイギョ」:ON制御	全オプションスイッチ: 「ミシヨウ」(未使用(使用しない))	● 1 つのオプションスイッチと 1 つの DFa端子が対応しています。	17~18
 「フロア オンセイ」: 警報音+フロア音声+ガイダンス音声 「カイセン オンセイ」: 警報音+回線音声+ガイダンス音声 「ハ、ショ オンセイ ナシ」: 警報音+ガイダンス音声(場所音声なし) 「オンセイ ナシ」: 警報音のみ 	「バショ オンセイ ナシ」 (警報音+ガイダンス音声 (場所音声なし))		19
 連動元 ※ ** は回線番号 ●「L**」:感知器回線(DLn) ●「DA**」:防排煙監視回線(DAn) ●「N**」:諸警報(小窓)回線(Nn) ■連動先 ※ ** は回線番号 ●「I**」:回線別移信回線(In) ■設定 ●「ON」:出力する ●「OFF」:出力しない 	感知器回線 (DLn) = 回線別移信回線 (In) ※防排煙監視回線、諸警報 (小窓)回線はすべて 「OFF」	 ・連動元1回線に対して、複数の回線 別移信(In)を設定することができます。 ・別売の移信用リレーユニット(NBY 431A)が接続されている場合のみ 有効です。 ・諸警報(小窓)回線の種別が「外部ト ラブル」」に設定されている場合は、 この設定は行えません。 	20
 「イシン テイシ スイッチ」: 移信停止スイッチ 「OP1 スイッチ」: オプション1スイッチ 「OP2 スイッチ」: オプション2スイッチ 「OP3 スイッチ」: オプション3スイッチ 「OP4 スイッチ」: オプション4スイッチ 	「イシン テイシ スイッチ」 (移信停止スイッチ)	 ●「移信停止スイッチ」以外に設定した場合、回線別移信の出力は移信停止スイッチで停止しません。 ●別売の移信用リレーユニット(NBY 431A)が接続されている場合のみ有効です。 	21
●「ON」:鳴動する ●「OFF」:鳴動しない	全回線:「ON」(鳴動する)	 ●回線種別設定にて「警報(自己保持なし)」「警報(自己保持あり)」に設定した感知器回線、「警報」に設定した諸警報(小窓)回線、および防排煙監視回線にのみ設定できます。 ●諸警報(小窓)回線の種別が「外部トラブル」」に設定されている場合は、この設定は行えません。 	22
●「ON」:蓄積 ●「OFF」:非蓄積	全回線:「ON」(蓄積)	●回線種別設定にて「防排煙感知器」「防 排煙感知器(復帰制御用)」に設定した 回線のみ、回線別蓄積設定を行えま す。	23

チェック	設定項目	設定内容
	 蓄積開始音響設定 チクセキ カイシ オンキョウ ▲ ▼ 詳細設定 	●蓄積開始時の音響「鳴動する」/「鳴動しない」を設定します。
	終端抵抗器設定 シュウタンキ タイフ [°] ▲ ▼ 詳細設定	 ●感知器回線(DLn-DLC)の終端抵抗器の種類「5.1k/ 10k」/「20k」を設定します。
	防排煙復帰制御時間設定 フッキシ [*] カン ▲ ホ [*] ウハイエン カイセン ▼ 詳細設定	●防排煙復帰制御の出力時間を回線ごとに設定します。
	設定終了 セッテイ シュウリョウ ▲ シ゛ッコウテ゛ END 基本設定	●設定内容を保存して連動操作盤が起動します。 ます。 この操作を行わないと設定データは書き換わりません。
	設定内容の初期化 リセット ▲ 詳細設定	●機能設定(ソフト設定)の内容を出荷時の状態に戻します。

設定可能な内容	出荷時設定	備考	参照ページ
●「ON」:鳴動する ●「OFF」:鳴動しない	「OFF」(鳴動しない)	●プープー音が1回鳴ります。	24
● [5.1K/10K] ● [20K]	[5.1K/10K]	●この設定はシステム一括での設定で す。回線ごとに終端抵抗器を変更す ることはできません。	25
 「10ビョウ」: 10秒 「20ビョウ」: 20秒 「30ビョウ」: 30秒 「40ビョウ」: 40秒 「50ビョウ」: 50秒 「60ビョウ」: 60秒 「120ビョウ」: 120秒 	全回線:「60ビョウ」(60秒)	●回線種別設定にて「防排煙感知器(復帰制御用)」に設定した回線に対応する防排煙制御回線のみ設定することができます。	26
		●「戻る」 ボタンを数回押すとメニュー が選択できます。	
		●設定終了の手順を行わないと、初期 化されたデータの保存はされません。	27

2.ソフト設定の開始方法/終了方法

設定前の手順



2 ソフト設定モード開始操作を行う。

電池を外し、電源スイッチを「切」にした状態から点検スイッチを押しながら電源投入することで ソフト設定モードが開始します。

■ソフト設定モードの表示状態

六次電流灯	交流電源 ON 時	点滅
又派电标入	交流電源 OFF 時	消灯
警戒中灯		点滅
トラブル灯		点滅 (※1)
スイッチ注意灯	I	点滅

※1 トラブル灯が点灯している場合、登録データの異常(「データ Err1」)が発生しています。 このときは、ソフト設定内容が出荷時の状態に戻っていますので、再度、設定を行ってください。

設定後の手順



液晶表示部にて ^{セッティ シュウリョウ} ・ を選択し実行スイッチを押し、すべての

設定内容を保存します。保存終了時、登録完了音響(ピッピッピッ)が鳴り、 連動操作盤が再起動します。



本操作を行わないと、設定データは書き換わりません。

3. ソフト設定モード時の操作表示部



■ソフト設定モードの表示状態

4. ソフト設定モードの構成

■ソフト設定モードは下図のようなメニュー構成になっています。

●選択スイッチ(▼▲)を押すことで、設定項目を選択することができます。

●設定したい項目を選択後、実行スイッチを押すことで、各設定画面へ遷移します。



(※) これらの設定項目は関連の設定項目が以下の条件に設定されたときは、自動的に表示されなくなります。

設定項目	表示されない条件
カイセン セッテイ カイ 🔺 🔻	回線種別設定において「防排煙感知器」「防排煙感知器 (復帰制御用)」に設定されている感知器回 線が1回線もないとき
ホ [*] ウハイエン レント [*] ウ ▲ L, DA, N → D ▼	 回線種別設定において「防排煙感知器」に設定されている感知器回線が1回線もないとき
	回線種別設定において「防排煙感知器」「防排煙感知器 (復帰制御用)」に設定されている感知器回 線が1回線もないとき
チクセキ カイシ オンキョウ 🔺 🌹	回線別蓄積設定において「蓄積」に設定されている「防排煙感知器」「防排煙感知器 (復帰制御用)」が1回線もないとき 回線種別設定において「防排煙感知器」「防排煙感知器 (復帰制御用)」に設定されている感知器回線が1回線もないとき
シュウタンキ タイフ° ▲ ▼	回線種別設定において「防排煙感知器」「防排煙感知器 (復帰制御用)」に設定されている感知器回 線が1回線もないとき
フッキシ [*] カン ▲ ホ [*] ウハイエン カイセン ▼	回線種別設定において「防排煙感知器(復帰制御用)」に設定されている回線が1回線もないとき。

5. 回線種別設定

■各感知器回線(DLn-DLC)、諸警報(小窓)回線(Nn-NC)の使用種別を回線ごと に設定します。



回線種別を変更すると、関連する下記設定項目が出荷時設定に戻る場合がありますので、必ず、一番初めにこの 回線種別設定を設定してください。 感知器回線の取付階設定、防排煙連動設定、代表移信設定、回線別移信設定、警報音響設定、回線別蓄積設定、 防排煙復帰制御時間設定における選択できなくなった回線や種別の設定が出荷時の状態に戻ります。

(例)感知器回線の取付階設定:回線種別を「警報(自己保持なし)」「警報(自己保持あり)」に変更したとき、 その回線の出荷時取付階に戻ります。

代表移信設定:回線種別が「警報(自己保持なし)」「警報(自己保持あり)」の感知器回線と「警報」の諸警報 (小窓)回線がなくなった時、各代表移信の警報代表がOFFに戻ります。



●下記は設定例を示します。

設定前の準備をする(7ページ参照)

操作方法 項目 液晶表示部の表示 ① 「選択スイッチ(▼▲)」を押し、液晶表示部を 確認する設定 カイセン シュヘ゛ツ カイセン [L01] 回線種別設定に合わせて「実行スイッチ」を押 ホ゛ウハイエン L, N Ŧ 項目を選択 します。 ② 「選択スイッチ(▼▲)」を押すごとに、各回線 [L02] カイセン [L01] カイセン 設定内容確認 に設定されている回線種別が液晶表示部に表 ホ゛ウハイエン ケイホウ 示されます



●表中の「○」はあり、「×」はなしを示します。

感知器回線(DLn-DLC)に設定できる種別

		回線種別ごとの動作						
液晶表示	回線種別	蓄積 / 非蓄積	入力 自己保持	音響鳴動	防排煙 制御出力 (Dn–DC)	回線別移信 (In-IC)	回線 (DLn-DLC) 配線断線 検出機能	火災復旧 / 試験復旧 による復旧
ホ゛ウハイエン	防排煙感知器	※3 設定による	0	防排煙感知器 作動音響	※5 設定による	※7 設定による	0	0
ホ゛ウハイエン フッキ	※] 防排煙感知器 (復帰制御用)	※3 設定による	0	防排煙感知器 作動音響	※6 設定による	※7 設定による	0	0
ケイホウ	警報 (自己保持なし)	非蓄積	×	※4 作動音響	※6 設定による	※7 設定による	×	×
ケイホウホシ゛	※2 警報 (自己保持あり)	非蓄積	0	※4 作動音響	※6 設定による	※7 設定による	×	0

諸警報(小窓)回線(Nn-NC)に設定できる種別

		回線種別ごとの動作						
液晶表示	回線種別	蓄積 / 非蓄積	入力 自己保持	音響鳴動	防排煙 制御出力 (Dn-DC)	回線別移信 (In-IC)	回線 (DLn–DLC) 配線断線 検出機能	火災復旧 / 試験復旧 による復旧
ケイホウ	警報	非蓄積	×	※4 作動音響	※6 設定による	※7 設定による	×	×
トラフ゛ル	外部トラブル	非蓄積	×	トラブル 音響	×	×	×	×

※1 この種別に設定した場合は、同じ回線番号の防排煙制御出力(Dn)は以下となります。

防排煙連動設定の時の連動先として選択できなくなります。

・防排煙復帰制御時間設定にて設定された時間が経過すると自動的に出力 OFF に戻ります。 (通常モードにおける防排煙個別制御時)

※2 警報(自己保持あり)に設定した場合の自己保持するまでの最小入力時間は1秒以上です。

※3 回線別蓄積設定による。(23ページ参照)

※4 警報音響設定にて、音響の有無を設定することができます。(22ページ参照)

※5 防排煙連動設定による。(14ページ参照) 出荷時設定では防排煙制御出力します。

※6 防排煙連動設定による。(14ページ参照) 出荷時設定では防排煙制御出力しません。

※7 回線別移信設定による。(20ページ参照)

6. 感知器回線の取付階設定

■感知器の取付階(フロア)を設定します。 設定された階にしたがって、フロア音声の鳴動を行います。

Ĭā



●回線種別設定にて「警報 (自己保持なし)」「警報 (自己保持あり)」に設定されている回線は表示されません。

他の設定項目の設定を行う場合

設定を完了する場合

●「選択スイッチ(▼▲)」を押して次に設定する設定 項目を選択します。(各項目の設定方法を参照) ●ソフト設定後の操作を行います。(7ページ参照)

設定内容を確認する場合

●下記は設定例を示します。

設定前の準備をする(7ページ参照)

項目	操作方法	液晶表示部の表示
確認する設定 項目を選択	 「選択スイッチ(▼▲)」を押し、液晶表示部を 感知器回線の取付階設定に合わせて「実行ス イッチ」を押します。 	カイセン セッテイ カイ ▲ ▼ → カイセン [L01] セッテイ カイ ナシ
設定内容確認	②「選択スイッチ(▼▲)」を押すごとに、各回線に設定されている取付階が液晶表示部に表示されます。	カイセン [L01] セッテイ カイ ナシ → カイセン [L02] セッテイ カイ ナシ

【例】●設定時による動作

設定階(例)	階音声
B2F	地下階で
B1F	地下1階で
١F	1 階で
2F	2階で

設定階(例)	階音声
STO	階段で
STE	東階段で
STW	西階段で
STS	南階段で
STN	北階段で
EVO	エレベータで
EVE	東エレベータで
EVW	西エレベータで
EVS	南エレベータで
EVN	北エレベータで
ナシ	—

7. 防排煙連動設定

■感知器回線(DLn-DLC)、防排煙監視回線(DAn-DC)、諸警報(小窓)回線(Nn -NC)から連動制御される防排煙制御回線(Dn-DC)を回線ごとに設定します。

注 [F

●回線種別設定にて諸警報(小窓)回線の種別が「外部トラブル」に設定されている場合は、この設定は行えません。 ●防排煙感知器(復帰制御用)回線に該当する Dn は連動先に登録できません。

設定・変更方法

●下記は設定例を示します。 設定前の準備をする(7ページ参照) ■出荷時設定

■設定可能な内容:連動元:DLn・DAn・Nn 連動先:Dn 設定 :「ON」・「OFF」 :DLn =Dnのみ[ON] DAn=すべて「OFF」 Nn =すべて「OFF」

設定を完了する場合

●ソフト設定後の操作を行います。(7ページ参照)

	項目	操作方法	液晶表示部の表示
	設定項目選択	 「選択スイッチ(▼▲)」を押し、液晶表示部を 防排煙連動設定に合わせて「実行スイッチ」を 押します。 	<pre> ホ`ウハイエン レント`ウ ▲ L, DA, N → D ▼ レント`ウモト[L01] レント`ウサキ D01 OFF </pre>
一 他の	連動元 回線番号選択 回線からの	②「選択スイッチ(▼▲)」を押し、連動元とする 回線番号に合わせて「実行スイッチ」を押しま す。	 連動元にL1を選択する場合 レント[*]ウモト[L01] レント[*]ウサキ D01 OFF ・レント[*]ウサキ [D01] OFF ※この時、選択した回線から連動制御される 防排煙制御回線の地区灯が点灯します。
連動 一 他 一	を登録する場合 連動先 回線番号選択 の回線への	③「選択スイッチ(▼▲)」を押し、連動制御させる回線番号に合わせて「実行スイッチ」を押します。	 D05への連動制御を変更する場合 レント[*]ウモト L01 レント[*]ウサキ [D05] OFF ・ レント[*]ウサキ D05 [OFF] ・ ・選択している連動先回線の地区灯が点滅します。 (点灯と点滅では点灯が優先表示します。)
	· 動を登録 「る場合 」 ● 連動登録	 ④「選択スイッチ(▼▲)」を押し、連動させる場合は「ON」を、連動させない場合は「OFF」に合わせて「実行スイッチ」を押します。 (1つの連動元から複数の防排煙制御回線に連動させることができます。) 	 L1からD05への連動制御をONにする場合 レント[*]ウモト L01 レント[*]ウサキ D05 [ON] → レント[*]ウサキ [D05] ON ※選択している連動先回線の地区灯が点滅から点灯に 変わります。
	連動元回線 選択に戻る	⑤「戻るスイッチ」を押します。	レント [、] ウモト L01 レント [、] ウサキ [D05] ON → レント [、] ウサキ D01 OFF
	設定完了	⑥「戻るスイッチ」を押します。	レント [*] ウモト[L01] レント [*] ウサキ D01 OFF ★ [*] ウハイエン レント [*] ウ ▲ L, DA, N → D ▼

他の設定項目の設定を行う場合

●「選択スイッチ(▼▲)」を押して次に設定する設定 項目を選択します。(各項目の設定方法を参照)

設定内容を確認する場合

●下記は設定例を示します。

設定前の準備をする(7ページ参照)

項目 操作方法 液晶表示部の表示 ① 「選択スイッチ(▼▲)」を押し、液晶表示部を 確認する設定 レント、ウモト[L01] ホ ウハイエン レント ウ ۰. 防排煙連動設定に合わせて「実行スイッチ」を レント ^{*}ウサキ D01 OFF L, DA, N \rightarrow D Ŧ 項目を選択 押します。 レント * ウモト [L 0 1] レント、ウモト[L02] レント ウサキ D01 OFF レント ウサキ D01 OFF ②「選択スイッチ(▼▲)」を押すごとに、連動先 設定内容確認 に設定されている回線の地区灯が点灯します。 ※この時、選択されている回線から連動制御される防 排煙制御回線の地区灯が点灯します。

8. 代表移信設定

■代表移信(DFa1・DFb1-DFc1、DFa2・DFb2-DFc2、DFa3-DFc3、DFa4-DFc4)を出力するための条件を設定します。(複数の条件の設定 が可能です。)

●「副受信機」を設定した場合、移信停止スイッチ操作をしても移信出力は停止しません。

●出力条件のもとになる回線種別がまったく存在しない場合は、その出力条件は液晶表示部に表示しません。 (例)「警報(自己保持なし)」「警報(自己保持あり)」に設定された感知器回線と「警報」に設定された諸警報(小窓)回線がない場合「警報代表」は表示されません。

- ●設定変更する場合は、すべての条件を確認し、該当しない条件の設定は「OFF」であることを確認してくだ さい。
 - (例)「警報代表移信」にする場合、種別「ケイホウ」を「ON」に設定するとともに、出荷時設定の「3シュカサイ」を 「OFF」にしてください。

設定・変更方法

■設定可能な内容:代表移信設定一覧表を参照
 ■出荷時設定
 ご防排煙感知器代表:ON
 その他
 こOFF

●下記は設定例を示します。
 設定前の準備をする(7ページ参照)

項目 操作方法 液晶表示部の表示 ①「選択スイッチ(▼▲)」を押し、液晶表示部を タ゛イヒョウ イシン タ゛イヒョウ Fa [01] ۸. 代表移信設定に合わせて「実行スイッチ」を押 設定項目選択 Ŧ Fa イシン 3シュカサイ ΟN します。 Falの条件を変更する場合 ② [選択スイッチ(▼▲)]を押し、設定したい回 ▶ 回線選択 タ゛イヒョウ Fa タ゛イヒョウ Fa [01] 01 線番号に合わせて「実行スイッチ」を押します。 [3シュカサイ] 3シュカサイ ΟN ΟN 他の回線の出力条 件を設定する場合 防排煙感知器代表を選択した場合 ③「選択スイッチ(▼▲)」を押し、移信出力させ ▶ 条件選択 たい条件に合わせて「実行スイッチ」を押しま タ゛イヒョウ Fa ダ イヒョウ Fa 01 01 す。 [3シュカサイ 0N 3シュカサイ [ON] 別の条件を 設定する場合 出力しない場合 ④「選択スイッチ(▼▲)」押し、出力する場合は 登録/解除 「ON」を、 出力しない 場合は 「OFF」を 選択 タ゛イヒョウ Fa 01 タ゛イヒョウ Fa 01 OFF [OFF]し、「実行スイッチ」を押します。 3シュカサイ [3シュカサイ 回線選択に タ゛イヒョウ Fa タ゛イヒョウ Fa 01 [01] ⑤「戻るスイッチ」を押します。 OFF [3シュカサイ 戻る 1 3シュカサイ OFF タ゛イヒョウ Fa タ゛イヒョウ イシン ۸. [01] 設定完了 ⑥ 「戻るスイッチ」を押します。 3シュカサイ OFF Fa イシン Ŧ



●「選択スイッチ(▼▲)」を押して次に設定する設定 項目を選択します。(各項目の設定方法を参照) 設定を完了する場合

●ソフト設定後の操作を行います。(7ページ参照)

設定内容を確認する場合

●下記は設定例を示します。

設定前の準備をする(7ページ参照)



項目	操作方法	液晶表示部の表示
確認する設定 項目を選択	 「選択スイッチ(▼▲)」を押し、液晶表示部を 代表移信設定に合わせて「実行スイッチ」を押 します。 	ダ [°] イヒョウ イシン Fa イシン ▼ タ [°] イヒョウ Fa [01] 3シュカサイ ON
確認したい 回線を選択	②「選択スイッチ(▼▲)」を押し、設定確認したい回線に合わせて「実行スイッチ」を押します。	ダ [°] イヒョウ Fa [01] 3シュカサイ ON → ダ [°] イヒョウ Fa 01 [3シュカサイ ON
確認したい 条件を選択	③「選択スイッチ(▼▲)」を押し、設定確認した い条件に合わせるごとに、設定内容が液晶表 示部に表示されます。	ダ [°] イヒョウ Fa 01 [3シュカサイ] ON → ダ [°] イヒョウ Fa 01 [木 [°] ウハイエン] OFF

■代表移信設定一覧表

代表移信種別	液晶表示	出力条件	移信停止スイッチ との連動
防排煙感知器代表	3シュカサイ	回線種別が「防排煙感知器」「防排煙感知器 (復帰制御用)」の回 線が発報したとき	連動する
防排煙監視代表	ホ * ウハイエン	防排煙監視入力が発生したとき	連動する
警報代表	ケイホウ	回線種別が「警報 (自己保持なし)」「警報 (自己保持あり)」の 回線に入力があったとき 回線種別が「警報」の諸警報 (小窓) 回線に入力があったとき	連動する
トラブル代表	トラフ゛ル	トラブルが発生したとき(※)	連動する
副受信機代表	フクシ゛ュシンキ	回線別移信(In-IC)が1回線以上出力したとき	連動しない
防排煙制御代表	Dt/f J	防排煙制御出力が発生したとき	連動する

※下記の「トラブル発生時の液晶表示部の表示内容」を参照してください。

■トラブル発生時の液晶表示部の表示内容

●点検・処置の方法については、〔取扱説明書(点検・施工される皆様へ)の「トラブル確認の方法」〕を参照してください。

液晶表示部の表示内容		
L**9゙ンセン(**:回線番号)	デ−9Errl	
ΒΤ Λ.Χ.Ψ	デ−タErr2	
テ゛ンアツErr	メモリ Err	
ト゛ウサフ <i>ノ</i> ウ	N**トラブル(**:01~04)	
加1**Err(**:回線番号)	I タンラク	
ΒΤシケン NG	D タンラク	

9. オプションスイッチ設定

■オプションスイッチによる代表移信(DFal・DFbl-DFcl、DFa2・ DFb2-DFc2、DFa3-DFc3、DFa4-DFc4)への制御方法を設定 します。

注 ●各オプションスイッチは、それぞれ代表移信出力に対応しています。 [*a* (オプション1スイッチとDFa1・DFb1-DFc1、オプション2スイッチとDFa2・DFb2-DFc2、オプション3スイッチとDFa3-DFc3、オプション4スイッチとDFa4-DFc4 が対応しています。) (1つのオプションスイッチで、複数の代表移信出力を制御することはできません。)

- ●「ON制御」に設定した場合、ON制御による代表移信出力は移信停止スイッチ操作をしても停止しません。
- ●代表移信設定にて設定した内容とこの設定にて設定した内容は両方とも動作します。

(代表移信設定にて防排煙感知器代表移信に設定、この設定にて「ON制御」に設定した場合、防排煙感知器の 発報またはオプションスイッチ操作の両方とも移信出力します。)





■設定可能な内容:	未使用	 : 代表移信(D F a)の動作に影響を与えません。
	ON制御	:対応する(DFa)の出力を強制出力します。
	連動停止	:対応する(DFa)の代表移信出力を連動停
		止します。
	A 1 - 0 A	

■出荷時設定 :全オプションスイッチ「未使用」

● D F a - D F c : 他設備への起動出力

● D F b - D F c : 他設備移信のコモンカット

■動作一覧表

オプションスイッチ設定	オプションスイッチ	代表移信(DFa)	
土庙田	OFF	× 1	
不使用	ON	*	
	OFF	% 1	
	ON	ON	
油制店业	OFF	% 1	
建動停止	ON	OFF	

※1 代表移信設定一覧表の設定による。(16ページ参照)

	項目	操作方法	液晶表示部の表示
	設定項目選択	 「選択スイッチ(▼▲)」を押し、液晶表示部を オプションスイッチ設定に合わせて「実行ス イッチ」を押します。 	○Pスイッチ ▲ 1-4 ▼ OPスイッチ [01] ミシヨウ
していていていていていていていていていていています。 「他のス・	オプション スイッチ選択 イッチの	②「選択スイッチ(▼▲)」を押し、設定したいオ プションスイッチ番号に合わせて「実行ス イッチ」を押します。	オプション1スイッチを変更する場合 OPスイッチ [01] ミシヨウ 0Pスイッチ 01 [ミシヨウ]
 	設定する場合 	③「選択スイッチ(▼▲)」を押し、オプションス イッチに設定したい制御内容に合わせて「実 行スイッチ」を押します。	ON制御に設定する場合 OPスイッチ 01 [ON セイキ*ョ] → OPスイッチ [01] ON セイキ*ョ
	設定完了	④「戻るスイッチ」を押します。	OPZ1ッチ [01] ON セイキ*ョ 0PZ1ッチ

他の設定項目の設定を行う場合

●「選択スイッチ(▼▲)」を押して次に設定する設定 項目を選択します。(各項目の設定方法を参照)

●ソフト設定後の操作を行います。(7ページ参照)

設定を完了する場合



10. 発報場所音声設定

■火災発生時または、トラブル発生時に鳴動させる音響を設定します。

 ●フロア音声に設定した場合は、感知器回線の取付階設定で、地下階(B1F、B2F)または地上階(**F)、 階段、エレベータに設定した感知器回線が火災発生した場合にフロア音声で発生場所をお知らせします。感 知器回線の取付階設定で階設定なしにしている感知器回線はフロア音声が鳴動しません。



【例】●4回線(感知器回線の取付階を3階に設定)が発報した場合

発報場所音声設定	鳴動音
フロア音声	ピーピーピーピー 3階で火災感知器が作動しました。現場を確認してください。
回線音声	ピーピーピーピー 4回線で火災感知器が作動しました。現場を確認してください。
場所音声なし	ピーピーピーピー 火災感知器が作動しました。現場を確認してください。
音声なし	ピーピーピー

●詳細については、〔取扱説明書(ご使用になる皆様へ)の「音声警報スピーカーについて」〕を参照してください。

11.回線別移信設定

■感知器回線(DLn-DLC)、防排煙監視回線(DAn-DC)、諸警報(小窓)回線(Nn -NC)から連動出力する回線別移信(In - IC)を回線ごとに設定します。



●回線種別設定にて諸警報(小窓)回線の種別が「外部トラブル」に設定されている場合は、この設定は行えません。

設定・変更方法

設定前の準備をする(7ページ参照)

●下記は設定例を示します。

■設定可能な内容:連動元:DLn・DAn・Nn 連動先: I n 設定 :「ON」・「OFF」 : DLn = I nのみ「ON」 ■出荷時設定 DAn=すべて[0FF] Nn =すべて「OFF」

 設定項目選択 ①「選択スイッチ(▼▲)」を押し、液晶表示部を 回線別移信設定に合わせて「実行スイッチ」を 押します。 運動元 回線番号選択 ②「選択スイッチ(▼▲)」を押し、連動元とする 回線番号に合わせて「実行スイッチ」を押します。 ②「選択スイッチ(▼▲)」を押し、連動制御させる す。 ③「選択スイッチ(▼▲)」を押し、連動制御させ る回線番号に合わせて「実行スイッチ」を押します。 ③「選択スイッチ(▼▲)」を押し、連動制御させる る回線番号に合わせて「実行スイッチ」を押した す。 ③「選択スイッチ(▼▲)」を押し、連動制御させる る回線番号に合わせて「実行スイッチ」を押します。 ③「選択スイッチ(▼▲)」を押し、連動制御させる る回線番号に合わせて「実行スイッチ」を押した もす。 ③「選択スイッチ(▼▲)」を押し、連動制御させる る回線番号に合わせて「実行スイッチ」を押した もす。 ③「選択スイッチ(▼▲)」を押し、連動制御させる る回線番号に合わせて「実行スイッチ」を押した もす。 ③「選択スイッチ(▼▲)」を押し、連動させる場 ④「選択スイッチ(▼▲)」を押し、連動させる場 ○「ごびつ連動元から複数の回線別移信に連動させる場 ○「ごびつ楽団元から複数の回線別移信に連動させる」 ○「こびつを表示します。 ○「こびつを表示します。 ○「ごびつを表示します。 ○「ごびつを表示します。 ○「ごびつをます。) ○「ごびつを表示します。 ○「ごびつの準動制御をONにする場合 ○」「ジャ************************************		項目	操作方法	液晶表示部の表示
連動元 回線番号選択 御の回線からの 連動を登録する場合 運動た 回線番号に合わせて「実行スイッチ」を押します。		設定項目選択	 「選択スイッチ(▼▲)」を押し、液晶表示部を 回線別移信設定に合わせて「実行スイッチ」を 押します。 	<pre></pre>
 連動た登録する場合 運動先回線番号選択 「選択スイッチ(▼▲)」を押し、連動制御させる場ます。 「選択スイッチ(▼▲)」を押し、連動制御させる場ます。 「選択スイッチ(▼▲)」を押し、連動させる場合 (点灯と点滅では点灯が優先表示します) ④「選択スイッチ(▼▲)」を押し、連動させる場合 「ご合わせて「実行スイッチ」を押します。 (1 つの連動元から複数の回線別移信に連動させる。 (1 つの連動元から複数の回線別移信に連動させんの (1 つの連動元から複数の回線別移信に連動させん。 (1 つの連動元から複数の回線別移信に連動させん。 (1 つの連動元から複数の回線別移信に連動させん。 (1 つの連動元から複数の回線別移信に連動させん。 (1 つの連動先回線の地区灯が点滅から点。 (1 つの連動元から複数の回線別移信に連動させん。 (1 つの連動先回線の地区灯が点滅から点。 (1 つの連動元のら複数の回線別移信に連動させん。 (1 つの連動先回線の地区灯が点減から点。 (1 つの連動元のら複数の回線別移信に連動させん。 (1 つの連動元のら複数の回線別移信に連動させん。 (1 つの連動先回線の地区灯が点減から点。 	「 他の	連動元 回線番号選択 回線からの	②「選択スイッチ(▼▲)」を押し、連動元とする 回線番号に合わせて「実行スイッチ」を押しま す。	 連動元にL1を選択する場合 レント[*]ウモト[L01] レント[*]ウサキ I01 ON レント[*]ウサキ [I01] ON ※このとき、選択した回線から連動制御される 回線別移信の回線の地区灯が点灯します。
(4) 「選択スイッチ(▼▲)」を押し、連動させる場合 (1) 「図連動元から複数の回線別移信に連動させる場合 (1) つの連動元から複数の回線別移信に連動させる場合 (1) 「図連動元のら複数の回線別移信に連動させる。 (1) つの連動元から複数の回線別移信に連動させる。 (1) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	· 連 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	を登録する場合 連動先 回線番号選択 の回線への	③「選択スイッチ(▼▲)」を押し、連動制御させる回線番号に合わせて「実行スイッチ」を押します。	 I10への連動制御を変更する場合 レント[*]ウモト L01 レント[*]ウサキ [I10] 0 F F ・ レント[*]ウサキ I10 [0 F F] ・ 選択している連動先回線の地区灯が点滅します。 (点灯と点滅では点灯が優先表示します)
連動元回線 (⑤「戻るスイッチ」を押します。		■700 豆 る場合 ■ 連動登録	 ④「選択スイッチ(▼▲)」を押し、連動させる場合は「ON」を、連動させない場合は「OFF」に合わせて「実行スイッチ」を押します。 (1つの連動元から複数の回線別移信に連動させることができます。) 	 L 1から I 10への連動制御をONにする場合 レント[*]ウモト L01 レント[*]ウサキ I 10 [ON] → レント[*]ウサキ [I 10] ON ※選択している連動先回線の地区灯が点滅から点灯に 変わります。
		連動元回線 選択に戻る	⑤「戻るスイッチ」を押します。	レント [°] ウモト L01 レント [°] ウサキ [I10]ON → レント [°] ウサキ I01 ON
設定完了 ⑥「戻るスイッチ」を押します。 レント・ウモト [L 01] レント・ウサキ I 01 ON イシン レント・ウ L, DA, N → I		設定完了	⑥「戻るスイッチ」を押します。	レント [°] ウモト [L01] レント [°] ウサキ I01 ON → I ▼ L, DA, N → I ▼

他の設定項目の設定を行う場合

●「選択スイッチ(▼▲)」を押して次に設定する設定 項目を選択します。(各項目の設定方法を参照)

設定内容を確認する場合

●下記は設定例を示します。



項目	操作方法	液晶表示部の表示
確認する設定 項目を選択	 「選択スイッチ(▼▲)」を押し、液晶表示部を 回線別移信設定に合わせて「実行スイッチ」を 押します。 	<pre></pre>
設定内容確認	②「選択スイッチ(▼▲)」を押すごとに、各回線に設定されている連動先回線の地区灯が点灯します。	レント [*] ウモト[L01] レント [*] ウサキ I01 ON → レント [*] ウサキ I01 OFF

設定を完了する場合

●ソフト設定後の操作を行います。(7ページ参照)

20

12. 回線別移信停止設定

■移信用リレーユニット(別売)の回線別移信(In-IC)がどのスイッチで停止するか を設定します。



●この設定を行う場合は、移信用リレーユニット (別売) のコネクタをはずしてください。

- ●移信用リレーユニット(別売)のコネクタが「I」側にあるときは回線別移信(In-IC)の連動停止はできません。
 - ●この設定を行っても代表移信(Fa)の出力状態に影響はありません。

設定・変更方法
 ●下記は設定例を示します。
 設定前の準備をする(7ページ参照)



■設定可能な内容:移信停止スイッチ
 オプション1スイッチ~オプション4スイッチ
 ■出荷時設定:移信停止スイッチ

【例】●オプション1スイッチに設定した場合

オプション1スイッチ	回線別移信(In-Ic)
OFF	% 1
ON	OFF

※1 回線別移信設定による。(20ページ参照)

項目	操作方法	液晶表示部の表示
設定項目選択	 「選択スイッチ(▼▲)」を押し、液晶表示部を 回線別移信停止設定に合わせて「実行スイッ チ」を押します。 	レント [*] ウ テイシ イシンUT ▼ ↓ 1シンUT レント [*] ウ テイシ [イシン テイシ スイッチ]
回線別移信 連動停止 スイッチ 選択	 ②「選択スイッチ(▼▲)」を押し、回線別移信の 連動停止スイッチを選択し、「実行スイッチ」 を押します。 (「実行スイッチ」を押すと、回線別移信停止 設定を登録し、回線別移信停止設定画面に戻 ります。) 	オプション1スイッチに設定する場合 イシンUT レント [*] ウ テイシ [OP1 スイッチ] → レント [*] ウ テイシ イシンUT ▼





- ●「選択スイッチ(▼▲)」を押して次に設定する設定 項目を選択します。(各項目の設定方法を参照)
- ●ソフト設定後の操作を行います。(7ページ参照)

設定内容を確認する場合

●下記は設定例を示します。

設定前の準備をする(7ページ参照)



13. 警報音響設定

注 J了了

■警報回線の入力時の音響「鳴動する」/「鳴動しない」を回線ごとに設定します。

●回線種別設定にて「警報(自己保持なし)」「警報(自己保持あり)」に設定した感知器回線、「警報」に設定した諸 警報(小窓)回線、および防排煙監視回線にのみ設定できます。

- / 言報(小芯)凹線、のよび防排圧監視凹線にのの設定でさま9。
 - ●その他の回線種別に設定されている回線は回線選択時に表示されなくなります。



設定完了 ④「戻るスイッチ」を押します。

す。



他の設定項目の設定を行う場合

●「選択スイッチ(▼▲)」を押して次に設定する設定
 項目を選択します。(各項目の設定方法を参照)

設定を完了する場合

オンキョウ

ケイホウ カイセン

[OFF]

[N01]

OFF

オンキョウ

OFF

۸.

Ŧ

●ソフト設定後の操作を行います。(7ページ参照)



●下記は設定例を示します。

設定前の準備をする(7ページ参照)



項目	操作方法	液晶表示部の表示
確認する設定 項目を選択	 「選択スイッチ(▼▲)」を押し、液晶表示部を 警報音響設定に合わせて「実行スイッチ」を押 します。 	オンキョウ ケイホウ カイセン ▼ オンキョウ [DA01] ON
設定内容確認	②「選択スイッチ(▼▲)」を押すごとに、各回線の警報音響設定の内容が液晶表示部に表示されます。	オンキョウ [DA01] ON オンキョウ [DA02] OFF

14. 回線別蓄積設定

■感知器回線(DLn-DLC)の「蓄積」/「非蓄積」を回線ごとに設定します。

●回線種別設定にて「防排煙感知器」「防排煙感知器(復帰制御用)」に設定した回線のみ、回線別蓄積設定を行
えます。

●その他の種別に設定されている回線は、回線選択時に表示されなくなります。

設定・3 ●下記は設定低 設定前の準備	変更方法 副を示します。 講をする(7ページ参照)	R:蓄積(ON)・非蓄積(OFF) :蓄積(ON)
項目	操作方法	液晶表示部の表示
設定項目選択	 「選択スイッチ(▼▲)」を押し、液晶表示部を 回線別蓄積設定に合わせて「実行スイッチ」を 押します。 	

 ● 回線選択 他の回線の回線別 	 ②「選択スイッチ(▼▲)」を押し、設定したい回線番号に合わせて「実行スイッチ」を押します。 	L 3を変更する場合
蓄積を設定する場合 回線別蓄積 設定	」 ③「選択スイッチ(▼▲)」を押し、「ON」/ 「OFF」を選択し「実行スイッチ」を押しま す。	「非蓄積」に設定する場合 チクセキ カイセン L03 [OFF] → チクセキ カイセン [L03] OFF
設定完了	④「戻るスイッチ」を押します。	チクセキ カイセン [L03] OFF チクセキ カサイ カイセン ▼



他の設定項目の設定を行う場合

●「選択スイッチ(▼▲)」を押して次に設定する設定 項目を選択します。(各項目の設定方法を参照)

設定内容を確認する場合

●下記は設定例を示します。

設定前の準備をする(7<u>ページ参照)</u>



設定を完了する場合

●ソフト設定後の操作を行います。(7ページ参照)

項目	操作方法	液晶表示部の表示					
確認する設定 項目を選択	 「選択スイッチ(▼▲)」を押し、液晶表示部を 回線別蓄積設定に合わせて「実行スイッチ」を 押します。 	チクセキ ▲ カサイ カイセン ▼ チクセキ カイセン [L01] ON					
設定内容確認	②「選択スイッチ(▼▲)」を押すごとに、各回線の回線別蓄積設定の内容が液晶表示部に表示されます。	チクセキ カイセン [L01] ON ● チクセキ カイセン [L02] OF F					

15. 蓄積開始音響設定



16. 終端抵抗器設定

■感知器回線(DLn-DLC)に接続する終端抵抗器を設定します。

注 ●この設定はシステム一括での設定です。回線ごとに終端抵抗器を変更することはできません。

- 【 3 ●必ず、実際に接続した終端抵抗器と同じになるように設定してください。
 - ●実際に接続した終端抵抗器と異なる値を設定すると、断線検出機能が正常に動作しない場合があります。



17. 防排煙復帰制御時間設定

■防排煙復帰制御の出力時間を回線ごとに設定します。 注 ●回線種別設定にて「防排煙感知器(復帰制御用)」に設定した回線に対応する防排煙制御回線(Dn)にのみ設 (f 定できます。 ■設定可能な内容:10秒・20秒・30秒・40秒・50秒・ 60秒・120秒 設定・変更方法 ■出荷時設定 :60秒 ●下記は設定例を示します。 設定前の準備をする(7ページ参照) 項 目 操作方法 液晶表示部の表示 ① 「選択スイッチ(▼▲)」を押し、液晶表示部を フッキシ゛カン ۰. フッキ カイセン [D01] 防排煙復帰制御時間設定に合わせて「実行ス 設定項目選択 Ŧ. ホ゛ウハイエン カイセン 60 ヒ゛ョウ イッチ」を押します。 D01を変更する場合 ② 「選択スイッチ(▼▲)」を押し、設定したい防 ╈ 回線選択 排煙復帰回線に合わせて「実行スイッチ」を押 フッキ カイセン [D01] フッキ カイセン D01 します。 60 ヒ゛ョウ [60 ヒ゛ョウ] 他の回線の設定を する場合 [120秒」に設定する場合 防排煙復帰 ③ 「選択スイッチ(▼▲) | を押し、復帰制御時間 フッキ カイセン フッキ カイセン D01 [D01] を選択し「実行スイッチ」を押します。 制御時間設定 [120 ヒ゛ョウ] 120 ヒ゛ョウ フッキ カイセン フッキシ゛カン [D01] ٠ ④ 「戻るスイッチ」を押します。 設定完了 120 ヒ゛ョウ ホ゛ウハイエン カイセン Ŧ





●「選択スイッチ(▼▲)」を押して次に設定する設定 項目を選択します。(各項目の設定方法を参照)

設定を完了する場合

●ソフト設定後の操作を行います。(7ページ参照)

設定内容を確認する場合

●下記は設定例を示します。

設定前の準備をする	(7ページ参照)
-----------	----------

項目	操作方法	液晶表示部の表示
確認する設定 項目を選択	 「選択スイッチ(▼▲)」を押し、液晶表示部を 防排煙復帰制御時間設定に合わせて「実行ス イッチ」を押します。 	フッキシ [*] カン ▲ ボ [*] ウハイエン カイセン ▼ → フッキ カイセン [D01] 120 ヒ [*] ョウ
設定内容確認	②「選択スイッチ(▼▲)」を押すごとに、各回線の防排煙復帰制御時間設定の内容が液晶表示部に表示されます。	フッキ カイセン [D01] 120 ビョウ フッキ カイセン [D02] 60 ビョウ

18. 設定内容の初期化

■ソフト設定の内容を出荷時の状態に戻します。

T

住
●設定後の手順(7ページ参照)を行わないと、初期化されたデータの保存はされません。 ●出荷時の設定については「設定項目一覧表(1~6ページ)を参照してください。

設定・変更方法 ●下記は設定例を示します。 設定前の準備をする(7ペー<u>ジ参照)</u> 項目 操作方法 液晶表示部の表示 ① 「選択スイッチ(▼▲)」を押し、液晶表示部を リセット ۸. リセット OK? リセットに合わせて「実行スイッチ」を押しま 設定項目選択 [イイエ] す。 ②「選択スイッチ(▼▲)」にて、「ハイ」を選択し、 登録内容の リセット OK? リセット ۸. [ハイ] 「実行スイッチ」を押します。 初期化 他の設定項目の設定を行う場合 設定を完了する場合

●「選択スイッチ(▼▲)」を押して次に設定する設定 項目を選択します。(各項目の設定方法を参照)

●ソフト設定後の操作を行います。(7ページ参照)

19. 設定表

件名

No.		
年	月	日 設定
記入者		



回線番号	回線種別				取合账	作動音響 ※2		蓄 積 ※3	
	防排煙 感知器	防排煙 感知器 (復帰制御用)	警報 (保持なし)	警報 (保持あり)	۱۹۲۲) * 1 * 1	鳴動あり	鳴動なし	蓄積	非蓄積
DL 1									
DL 2									
DL 3									
DL 4									
DL 5									
DL 6									
DL 7									
DL 8									
DL 9									
DL 1 0									

※1 回線種別が「警報(自己保持なし)」「警報(自己保持あり)」のときは、設定できません。

※2 回線種別が「警報(自己保持なし)」「警報(自己保持あり)」のときのみ、設定できます。 ※3 回線種別が「防排煙感知器」「防排煙感知器(復帰制御用)」のときのみ、設定できます。

19. 設定表

件名

No.			
	年	月	日 設定
記入	者		

回線別移信設定

回線	回線別移信連動 ※1									
番号	Ιl	I2	IЗ	I4	15	I6	I 7	I8	19	I10
DL 1										
DL 2										
DL 3										
DL 4										
DL 5										
DL 6										
DL 7										
DL 8										
DL 9										
DL 1 0										
DA01										
DA02										
DAO3										
DA04										
DA05										
DA06										
DA07										
DA08										
DA09										
DA10										
N 1										
N2										
NЗ										
N4										

※1 回線種別が「トラブル」のときは、設定できません。

防排煙連動設定

回線		防排煙連動 ※1								
番号	D01	D02	D03	D04	D05	D06	D07	D08	D09	D10
DL 1										
DL 2										
DL 3										
DL 4										
DL 5										
DL 6										
DL 7										
DL 8										
DL 9										
DL 1 0										
DA01										
DA02										
DA03										
DA04										
DA05										
DA06										
DA07										
DA08										
DA09										
DA10										
N 1										
N2										
NЗ										
N4										

※1 回線種別が「トラブル」のときは、設定できません。

施工店様へ…設定される前に登録内容を上記設定表に必ず記入してください。 上記設定表はコピーしてご使用ください。 件名

No.		
年	月	日設定
記入者		

防排煙復帰制御時間設定

同始来中	復帰時間						
凹标田丂	10秒	20秒	30秒	40秒	50秒	60秒	120秒
D01							
D02							
D03							
D04							
D05							
D06							
D07							
D08							
D09							
D10							

※回線種別が「防排煙感知器(復帰制御用)」のときのみ、設定できます。

警報音響設定防排煙監視回線

回線番号	作動音響
DAO1	□鳴動する □鳴動しない
DA02	□鳴動する □鳴動しない
D A O 3	□鳴動する □鳴動しない
DA04	□鳴動する □鳴動しない
DA05	□鳴動する □鳴動しない
D A O 6	□鳴動する □鳴動しない
DA07	□鳴動する □鳴動しない
DA08	□鳴動する □鳴動しない
DA09	□鳴動する □鳴動しない
DAIO	□鳴動する □鳴動しない

施工店様へ…設定される前に登録内容を上記設定表に必ず記入してください。 上記設定表はコピーしてご使用ください。

19. 設定表

件名

No.		
年	月	日 設定
記入者		

オプションスイッチ設定

OP1	□連動停止 □○N制御 □未使用
0P2	□連動停止 □○N制御 □未使用
0P3	□連動停止 □○N制御 □未使用
OP4	□連動停止 □○N制御 □未使用

代表移信設定

D F a l	 □防排煙感知器(3種火災) □トラブル □副受信機 	□防排煙監視 □防排煙制御	□警報
DFa2	□防排煙感知器(3種火災)□トラブル□副受信機	□防排煙監視 □防排煙制御	□警報
D F a 3	□防排煙感知器(3種火災)□トラブル□副受信機	□防排煙監視 □防排煙制御	□警報
DFa4	 □防排煙感知器(3種火災) □トラブル □副受信機 	□防排煙監視 □防排煙制御	□警報

回線種別設定	諸警報
警報音響設定	(小窓)回線

回線番号	回線種別		作	助音響 ※1
N 1	□警報	□外部トラブル	□鳴動する	□鳴動しない
N 2	□警報	□外部トラブル	□鳴動する	□鳴動しない
N 3	□警報	□外部トラブル	□鳴動する	□鳴動しない
N 4	□警報	□外部トラブル	□鳴動する	□鳴動しない

※1 回線種別が「警報」のときのみ、設定できます。

その他の設定

発報場所音声設定	 ・ ・	ゴイダンス音声 □警報音+回線音声+ガイダンス音声 [□] □警報音のみ
回線別移信停止設定	 □移信停止スイッチ □オプション2スイッチ □オプション4スイッチ 	□オプション1スイッチ □オプション3スイッチ
蓄積開始音響設定	□鳴動する	□鳴動しない
終端抵抗器設定	□5.1k/10k	□20k

施工店様へ…設定される前に登録内容を上記設定表に必ず記入してください。 上記設定表はコピーしてご使用ください。

Memo

NDC日本ドライケミカル株式会社